

レポート／報告書の書き方

1. はじめに

これから、レポート／報告書を作成する注意点を述べる。タイトルや見出しはゴシック体フォントを用い 1 段組で書く。本文は明朝体フォントを用い 2 段組で作成する。「はじめに」でこれから述べることからの概要について書く。「おわりに」では全体をまとめ、結論を書く。2 ページ以上書いても構わないが、その場合はページ番号を入れる。3 年生は B3, 4 年生は B4, 修士 1 年生は M1, 修士 2 年生は M2, 博士課程 1 年生は D1 以下 D2, D3 として、右上に学籍番号と名前と共に記述すること。

2. 採点方法

レポートおよび報告書の採点方法について述べる。まず、全体の内容を確認する前に、以下 3 章以降の項目での減点を確認する。次に内容の正確さから 100 点満点で採点し、各減点項目を差し引く形式で行う。各自は減点されないように本様式を正確に守って記述すること。また、このサンプルを改変・編集して作成することを推奨する。

3. オリジナルタイトル

報告書には内容を表現するオリジナルタイトルをつける。このタイトルは、述べたい事柄を簡潔に書く。日本語フォントはゴシック、英数字は times を使う。指定と違った書式で書いた場合は、20 点減点とする。

4. 本文

文中内で簡単な数式や変数などを紹介する場合は、斜体にすること。例： $a = a + 1$ では無く、 $a = a$

+ 1 と記述する。数式変数は Times New Roman フォントで斜体とする。それ以外で書いた数式は数式とは認めない。ベクトルや集合は、Times New Roman 斜体の太字(ボールド)で表記する。

例： $A=(3,4)$

指定と違った書式で書いた場合は、20 点減点とする。

- ・日本語論文タイトル 14 pt 程度, ゴシック系フォント)
- ・英語論文タイトル (12 pt 程度, times 系フォント)
- ・日本語著者名と所属 (10 pt 程度, 明朝系フォント)
- ・英語著者名と所属 (9 pt 程度, times 系フォント)
- ・英文アブストラクト (9 pt 程度, times 系フォント)
- ・英語キーワード (9 pt 程度, times 系フォント)
- ・日本語論文本文 (10 pt 程度, 明朝系フォント)
- ・英語論文本文 (10 pt 程度, times 系フォント)
- ・コンピュータプログラム, HDL 設計のソースファイルの一部や疑似コード(10 pt 程度, Courier New 系フォント)

5. 表

表には、必ず表番号とタイトル(キャプション)を付ける。表番号タイトルは、表の上につけること。タイトルを書いてない場合は、20 点減点とする。データの読み間違いが無いように小数点以下の桁数はそろえること。表 1 の例では、小数点以下 5 桁にそろえている。

表 1 Example of a table

	Label 1	Label 2	Label 3	Label 4	Label 5
Item1	0.00000	0.00153	0.00224	0.01788	0.01765
Item2	0.00259	0.01506	0.01424	0.02541	0.02447

6. 図

図にも図番号とタイトル(キャプション)を付けること. 図の場合は図の下につける. タイトルを書いてない場合は、20 点減点とする. 図 1 参照.

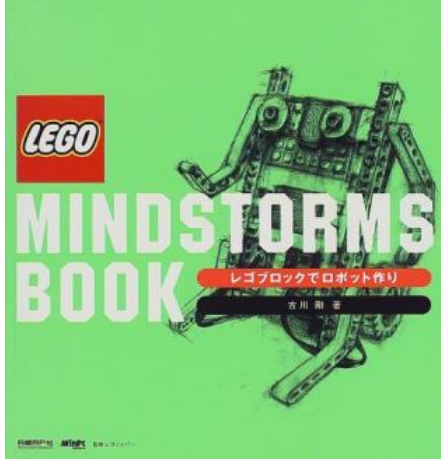


図. 1 Example of a figure

7. 数式

数式については、下記のように中央寄せとします. 本文中での引用は、「式(1)では,...」のように書く. 式は Microsoft 数式 3.0 を使うこと. [挿入]⇒[オブジェクト]から選択できる. 式番号は右揃え, 数式はイコールで揃える. それ以外で書いた数式は数式とは認めず、20 点減点とする. 数式番号を省略した場合も同様に減点する.

$$c = (1 - s)a + sb \quad (1)$$

$$s = \frac{|(a) + (b)|}{2} \quad (2)$$

8. 引用

参考文献を引用する時は、参考文献の番号を文中に記述する. []鍵カッコで囲み文献番号を記述すること [1][2].

参考文献を書く時は、著者名、タイトル、論文誌名、ページ番号の順番で記述すること. 書籍の場合はページ番号も前に出版社名を記述する. 1 頁の場合は” p.** ” となり、複数ページの場合は”

pp.**-?? ” となる. 一般書籍, 学術論文, 電子ジャーナル論文以外のインターネットのホームページと用いた場合は、100 点減点とする.

参考文献

[1] 著者名, “論文タイトル”, 雑誌名, vol. **, no. **, pp. **--**, 年.

Author Name, “Title of the paper,” Name of Journal or Transaction, vol. **, no. **, pp. **--**, Year.

[2] Author Name and Author Name, “Title of the paper,” Name of Proceedings, Year, pp. **--**.

Author Name and Author Name, Title of a Book, Publisher Name, Year, pp. **--**.

問い合わせ先

高知工科大学 ○○学群 ○○専攻

3 年生 11223344 工科大太郎

内容を吟味する前に文書フォーマットにあつてないといけません. 工学系分野の報告書は最終的に卒業論文, 修士論文, 学術論文の土台となります. したがって, 所定の書式に準拠して読むこととなります. 「学術論文フォーマット」でインターネット検索してみてください.

https://www.google.co.jp/search?q=%E5%A6%A1%93%E8%AB%96%E6%96%87%E3%83%95%E3%82%A9%E3%83%BC%E3%83%9E%E3%83%83%E3%83%88&aq=%E5%AD%A6%E8%A1%93%E8%AB%96%E6%96%87%E3%83%95%E3%82%A9%E3%83%BC%E3%83%9E%E3%83%83%E3%83%88&aqs=chrome..69i57.2060j0j9&sourceid=chrome&es_sm=122&ie=UTF-8